

## 運動会 「閉会の言葉」で話したこと

(石南小 HP から)

10月6日は保護者向けの運動会でした。今年は新型コロナウイルス感染予防の観点から、3部制の開催となりました。そのため、閉会の言葉を5・6年生とその保護者のみなさん、ご家族の方にしかお伝えできなかったのが、概略をここに記します。

- 1年生** 幼稚園や保育所よりずっと広い運動場いっぱい広がっても、指揮台にいる先生を見て、嵐の曲に合わせてながらリズムよくダンスを踊っていました。ポンポンがかっこよく、一人ひとりの笑顔と仕草がとてもかわいく癒されました。
- 2年生** 入場するときから退場するまで全力投球でした。「いきものがかり」の曲に合わせた力いっぱいのダンスで、声を掛け合うところも素敵でした。「いきものがかり」のliveがあるときはこのダンスの振り付けでバックダンサーが務まりそうでした。
- 3年生** YMCAの曲に合わせた迫力あるフラッグで、西城秀樹もびっくりするだろうなと思いました。初めて手に持ったフラッグでしたが、上手に操作して楽しい演技でした。2階の教室の窓際に1年生2年生が鈴なりにになって演技を見ていました。フラッグは高い所から見るとほうがよりきれいに見えますから。
- 4年生** 声を出して入場し、激しい「南中ソーラン」の動きを一つひとつこなしながら、掛け声も出すという離れ業に挑んだ4年生。一生懸命取り組む4年生の姿を近くで見ると胸が熱くなりました。あの小さかった1年生がいつのまにかたくましく成長していることがうれしかったです。
- 5年生** 3年生の元気あふれるフラッグとは一味違う構成でした。静と動、強と弱の対比が見事でした。歩く姿もかっこよく、これからのフラッグを使った表現運動の可能性を示してくれた演技でした。2階と3階から見ていたこどもたちも見とれていたと思います。
- 6年生** まっすぐ立つ、列をそろえる、いきを合わせてしっかり歩くといった基本的な動きは美しさを表現するということを見事に証明した演技でした。この意識はかえる倒立などのひとり演技にも活かされていました。演技構成の最後はこどもたちが振り付けを教え合っ練習してきたのりのりのヒップホップダンス。とびきりの笑顔で表現運動に取り組んでいる姿は、今年の運動会のスローガン「できないことがあるからこそ、できることを全力で」そのものだったと思います。さすがは石橋南小学校の6年生です。

いつまでもこどもたちの記憶に残ってほしい運動会でした。